

# 平成 20 年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	パークシャー種育成豚及び肥育豚の能力調査成績		
[要約] 当所繋養パークシャー豚は、発育や繁殖性において改良目標指標を概ね上回る能力であり、種豚としての利用性は高い。					
キーワード	パークシャー	育成豚	肥育豚	畜産研究所家畜育種研究室	

## 1 背景とねらい

近年、各地で独自の品種交配や飼育管理による特色ある銘柄豚が生産されており、本県においてもパークシャー種を止め雄に用いた LW・B などの三元交雑種の銘柄豚や、純粋パークシャー種による黒豚などがブランド化されているが、パークシャー種は国内資源が少なく、防疫、コスト面で他県からの種豚導入は難しい状況である。そこで、純粋種豚生産や交雑止め雄に活用されているパークシャー種を当所で一定数確保し、能力評価をしながら効果的な利用を確立することを目的とする。

## 2 成果の内容

- (1) 育成豚の産肉性は、改良目標に対し背脂肪は厚めであるが、DG(1日平均増体重)、飼料要求率は上回る能力であり、母豚の繁殖成績は、改良目標に対し成績が安定する3産目で離乳頭数、離乳時1腹総体重は上回る能力である(表2、3)。
- (2) 肥育成績は、背脂肪が厚めであるが、発育性に優れており、ロース断面積は改良目標値に近似している(表5、6)。

## 3 成果活用上の留意事項

- (1) 平成19年3月に大分県種豚生産者から導入したパークシャー種雄豚3頭、雌豚5頭及びその産子に係る能力調査である。
- (2) 純粋パークシャー種生産農場が導入する際は、近交係数が急激に上昇しないように自場の種豚との血縁関係を考慮して行う必要がある。
- (3) 背脂肪厚等を調整する肥育方法については、今後検討予定である。

## 4 成果の活用方法等

### (1) 適用地帯又は対象者等

県内養豚指導者及びパークシャー種飼養農場

### (2) 期待する活用効果

育成豚導入を検討する際の参考となる  
能力評価済み育成豚供給による農家種豚群の改良

## 5 当該事項に係る試験研究課題

(H20-10) 地域ブランド豚肉に活用する種豚性能調査と飼養管理技術の確立、  
H20-H22、県単独

## 6 研究担当者

佐々木直

## 7 参考資料・文献

- (1) 岩手県(2006), 岩手県家畜及び鶏の改良増殖計画書.
- (2) 日本養豚協会(2005), 登録・証明関係諸規程.
- (3) 小村喜久男ら(2002), 系統豚「サツマ2001」の性能調査, 鹿児島県畜産試験場研究報告, 第36号, 83-87.
- (4) 佐々木直・吉田力(2009), ソバクズとオカラを混合したサイレージ給与が肥育豚の発育、肉質に及ぼす影響, 岩手農研セ研報 9, 37-42. (2009年3月発行)

## 8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 育成豚能力調査概要（現場直接検定に準じて実施）

育成豚：分娩1腹当り雄2頭、雌2頭を5週齢時に発育、一般外貌、肢蹄等により選抜
調査期間：体重30kg～105kg
飼養管理：単飼、不断給餌、自由飲水とし、検定開始から50日間は前期飼料、51日目以降は後期飼料を給与。
前期飼料：TDN77.0%、CP16.0%
後期飼料：TDN72.0%、CP14.5%
調査内容：体重、飼料給与量、体重105kg時に超音波測定器で体長1/2部位ロース断面積と背脂肪厚を測定。

表2 育成豚産肉能力

	頭数	30kg到達 日齢(日)	105kg到達 日齢(日)	DG (g/日)	飼料要求率	ロース断面積 (cm <sup>2</sup> )	背脂肪厚 (cm)
雄	20	70±8	162±10	825±71	3.33±0.26	23.6±2.9	2.9±0.5
雌	18	75±8	188±13	665±58	3.82±0.42	23.7±2.2	2.7±0.4
改良目標(H27雄)				720	3.40	30.0	2.2

改良目標：岩手県家畜及び鶏の改良増殖計画書よりパークシャーの改良目標

豚産肉能力検定の現場直接検定成績判定基準(パークシャー)では、DG540g/日以上、ロース断面積25.0cm<sup>2</sup>以上、背脂肪厚2.6cm以下が合格

表3 導入母豚繁殖成績

産次	頭数	分娩頭数	哺育開始 頭数	離乳頭数	離乳時1腹 総体重(kg)	離乳時子豚 体重(kg/頭)
1産	5	8.0±2.0	7.2±2.6	6.8±3.4	38.3±20.6	5.6±1.2
2産	5	9.4±2.9	7.4±2.1	7.4±2.1	45.5±8.7	6.4±1.5
3産	5	10.0±0.0	9.2±0.8	9.2±0.8	52.2±5.0	5.7±0.5
改良目標(H27雌)				8.9	52.0	

分娩頭数は死産子豚を含み、離乳は分娩後21日で実施

改良目標：岩手県家畜及び鶏の改良増殖計画書よりパークシャーの改良目標

表4 肥育豚調査概要

肥育豚：去勢、雌の肥育豚
調査期間：体重30kg～110kg
飼養管理：群飼、不断給餌、自由飲水とし、体重30～69kgは前期飼料、体重70kg～110kgは後期飼料を給与。
前期飼料：TDN77.0%、CP16.0%
後期飼料：TDN77.0%、CP14.5%
調査内容：体重、飼料摂取量、枝肉形質及びロース断面積（第4-5胸椎、第10-11胸椎切断面）を測定。

表5 肥育豚発育成績

	頭数	30kg到達 日齢(日)	110kg到達 日齢(日)	飼料摂取量 (kg)	DG (g/日)	飼料要求率
去勢	13	72±9	186±14	324±46	757±82	3.82±0.43
雌	9	74±10	201±8	342±38	683±38	3.97±0.25

表6 肥育豚枝肉背脂肪厚及びロース断面積

	頭数	背脂肪厚(cm)			ロース断面積 (cm <sup>2</sup> )	
		カタ	セ	コシ	第4-5胸椎間	第10-11胸椎間
去勢	13	5.2±0.6	3.0±0.4	4.4±0.6	15.0±4.8	28.6±5.1
雌	9	4.8±0.5	2.7±0.5	4.1±0.6	16.6±3.1	33.0±8.5